

事務事業名	道路愛護事業交付金		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共維持G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	福間 伸英	
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1063 (内線) 2472	
目的対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			予 算 科 目
				会計	0:140	0:2
				款	大 事 業 名	道路施設管理事業
				項 目	中 事 業 名	道路愛護事業交付金
				1:0	1:0	2:5

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民のボランティア作業参加者	ボランティアによる道路、河川の維持管理の実施。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・道路河川愛護作業への交付金の交付
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
住民参加による道路河川愛護作業実施に係る交付金支払 ①1回目5月～9月、2回目10月～11月に自治会等で実施 ②自治会から市へ愛護作業実績の報告 ③自治会へ交付金支払	<ul style="list-style-type: none"> ・旧6町村で基準が異なっていた参加者補助金等を平成22、23年度の2箇年度を かけ「愛護作業交付金」とし、交付基準の統一を図った。 ・27年度から交付金の単価を見直し、改善を図った。 ・平成29年度より機械借上げ(軽トラック・ダンプトラック・バックホウ)経費を交付金 の対象とした。 ・令和2年度より2回目の作業単価、草刈機・チェンソーの単価を1回目と同額に見 直した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 交付金交付団体数	団体	398	412	436	440
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
道路愛護交付金	国庫支出金	千円				
合計10,981千円	財源内訳					
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	10,318	10,689	10,981	11,900
	事業費計	千円	10,318	10,689	10,981	11,900

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・地域住民と市との協働で道路・河川の維持管理が実施できている。
② 事業実施するうえでの課題	・高齢化や過疎化等により作業実施が困難になりつつある自治会も見受けられる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・地域内の除草作業について、自治会等で活動の継続が図られるよう制度の拡充など見直しが必要となる。